

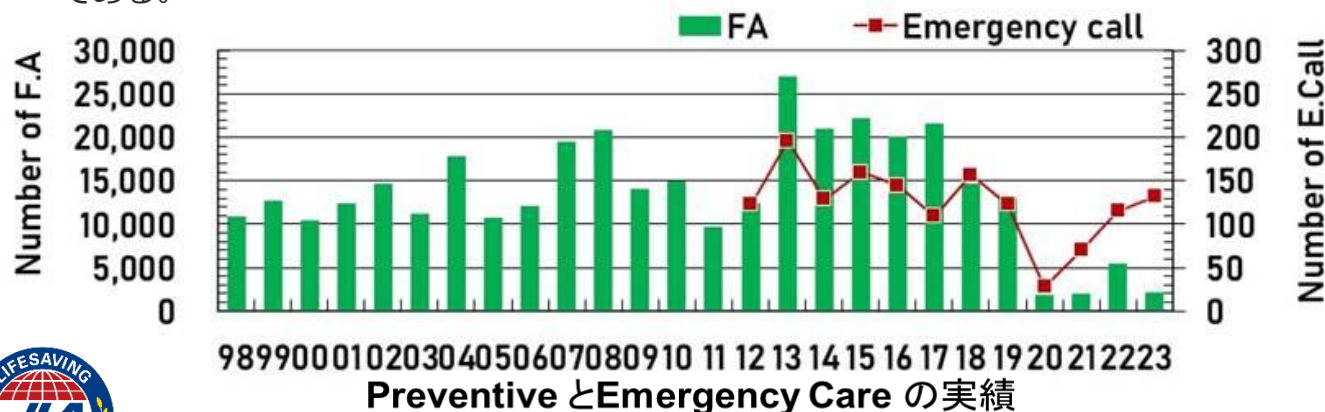
わが国のライフセービングの発展とIRBの歴史

わが国におけるIRBレスキューの歴史は、1984年の豪日交流基金事業において、日本からオーストラリアに10名のライフセーバーが派遣され、この時学んだIRBによるレスキュー技術が日本に持ち込まれたことが原点であり、今から30年以上前になる。IRBレスキューに関わる資格制度はドライバーとクルーからなり、オーストラリアに派遣されたライフセーバーが指導員となって**1991年からスタート**し、主に静岡や大洗で開催された。また、1992年に最初のIRB指導員養成講習会が湘南海岸で開催され、4名の指導員が誕生した。

これまでのIRB資格発行は、**IRBクルー369名、IRBドライバー211名、IRBインストラクター52名**である（2025年3月31日現在）。資格取得者の増加とともに各海水浴場にIRBが導入され、より高度で効率的な救助が各地の海水浴場で展開された。2020年時点でIRBが導入されているのは、宮城県小田の浜海水浴場、茨城県大洗サンビーチ、大竹海岸鉾田海水浴場、神奈川県横浜海の公園、片瀬西浜海水浴場、静岡県白浜大浜海水浴場、静波海水浴場、兵庫県須磨海水浴場など**18ヶ所の海水浴場**である。また、**IRBは海水浴場における救助活動だけでなく、波が砕ける厳しい環境において、その高い機動性と運搬能力によりライフセービング競技会において競技者の安全確保**のためにも使われている。

SLSAと戦略的パートナーシップを締結し、IRB技術についても最新の情報交換を行っています。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の海上警備にも活躍が期待され、数多くのスポーツ競技で従事予定である。



JLAの取り組むIRB講習会カリキュラムの紹介

項目		クルー		ドライバー	
		学科	実技	学科	実技
ガイダンス等（開講式、閉校式）、その他		30		30	
第1章	IRB概論・取り巻く環境 （使用環境とニーズ、歴史と現状など）	20		20	
第2章	IRBの準備 （クルー・ドライバーの心得、組立て、発航前点検など）	20	120	20	120
第3章	操船 （乗船方法、姿勢、パンチング、ビーチングなど）		100		130
第4章	救助方法 （ピックアップ、マスレスキュー、搜索、曳航など）		180		180
第5章	アクシデントへの対応方法 （転覆、遭難など）		60		60
第6章	メンテナンス （シーズン前後や日々のメンテナンスについて）		60		60
第7章	パトロール （安全確認、EAP、シグナル、ロープワークなど）	20	50	20	50
第8章	リスクと安全管理 （想定される事故と安全管理について）	30		30	
第9章	IRBに関する法令 （航行範囲や基本的な航行ルールについて）	30		30	
検定（学科、実技）。PLGの学科は、理解度テスト		60	60	60	30
合計		210	630	210	630



JLAの取り組むIRB講習会カリキュラムの紹介



JLAの取り組むIRB講習会カリキュラムの紹介

JLAアカデミー IRB クルー / IRB ドライバー 講習会 日程表

時間	201*年 **月 **日 (土)			201*年 **月 **日 (日)		
	項目	クルー	ドライバー	項目	クルー	ドライバー
8:30	受付			ビーチクリーン、準備体操、水なれ		
9:00	開講式	講習日程説明等		運搬／発行前点検	・船体、船外機の チェック	暖気運転
9:30	学科	・概論 ・心得、資質 ・構造、名称 ・パトロール ・リスクと安全管理 ・関連する法令	クルーと合同	レスキュー (基本)	人（意識有り、 無し）を PIC-UP	クルーと合同
10:00						
10:30						
11:00						
11:30	休憩（昼食、着替え）			レスキュー (応用)	・マスレスキュー ・ロープレスキュー (岩場等) ・水没者の捜索 ・曳航	クルーと合同
12:00						
12:30	IRBの組立て と注意点	・組立て ・注意点	・組立て ・注意点 ・船外機のチェック	休憩（昼食）		操船 (後進、1人時操船)
1:00						休憩（昼食）
1:30	運搬 発行前点検	・船体、船外機のチェック	暖気運転	実技検定	・発行前点検 ・ローブワーク	クルーと合同
2:00	操船	・安全確認 ・操船姿勢、バランス ・インアウト、ビーチング ・転舵、サイン走行 ・パンチング ・波打ち際の対応 ・Rチューブピックアップ ・ローワーク アンカーリング	・安全確認 ・エンジン始動 ・アプローチ ・その他クルーと合同	アクシデント	・転覆時の対応 ・漂流、シーアンカー ・ドライバーの落水	
2:30						
3:00				実技試験	レスキュー	
3:30				かたづけ・メンテナンス		
4:00	かたづけ・メンテナンス			学科試験		
4:30						
5:00	終了			閉校式 終了		



災害をもたらした気象事例



確実な救助には船外機を適切に使用できることが求められます。
マンホールや下水管への引き込み含め、**水面下には危険が多く混在**します。急激な水位や流れの変化は自然災害時にはあるものです。



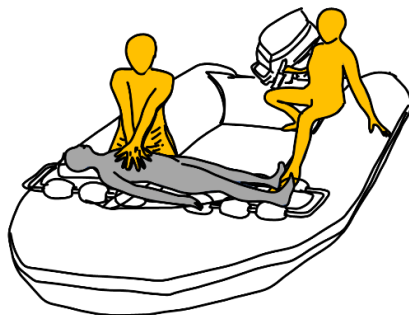
自然災害時等に求められる技術や知識



環境に合わせた救出方法



1. 長距離搬送・水面や風がラフな環境では、フローティング担架やバックボードを使用しない引き上げ方法・搬送方法。
2. 担架などを使用し、IRBに要救助者を乗船させたが、長距離搬送や荒天時の搬送方法。
3. 直近に部署する陸上隊に、要救助者を引き継ぐ場合の搬送方法…etc.



災害現状では、IRBを達着させる場所、係留できる場所、陸上隊に引き継げる場所が**極端に少**くなります。

様々な環境に対応すべく、各方法のメリットデメリットを確認し習得することが、災害での**安全・確実・迅速**に繋がります。

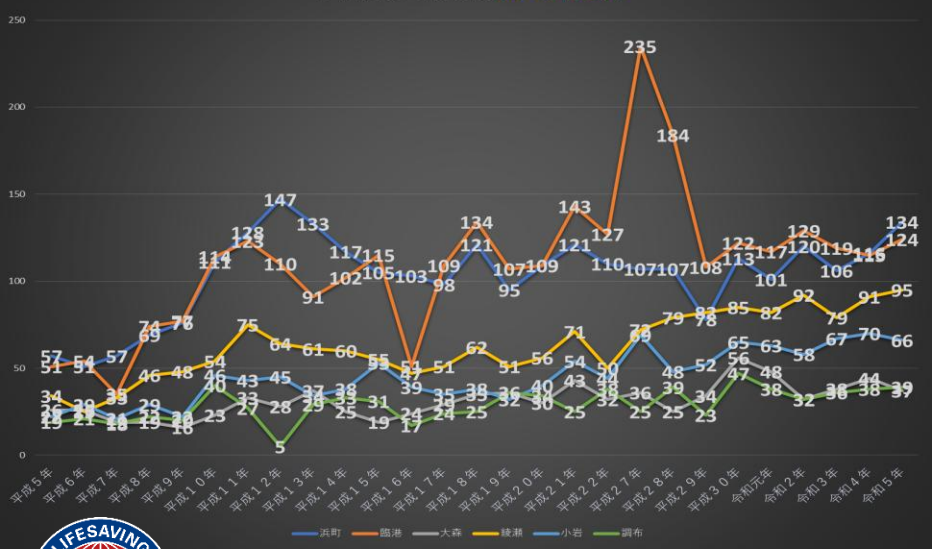


全国のライフセーバーの中には、多くの消防職員が在籍しています。

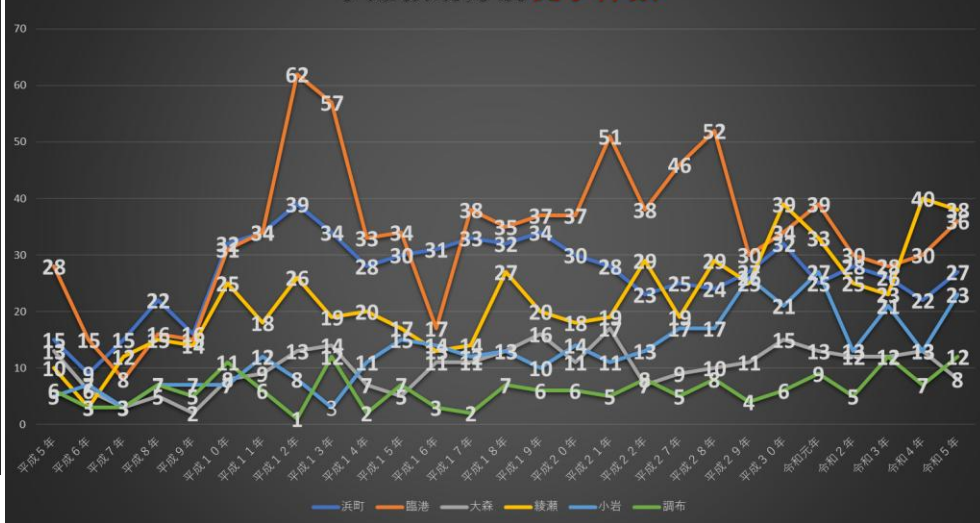
その消防職員から聴取した内容によると、消防隊員の**災害経験は、部隊によって大きく異なり**、人事異動に伴う経験と高度な知識を持った**技術の伝承**は、関わる事の出来た部隊によって差異があるとのこと。

培うことのできた技術知識を、多くの職員に伝達し、今後来るであろう自然災害の対応に、**技術の平準化が必要不可欠**と考えます。

水難救助隊別出場件数



水難救助隊別従事件数



自然災害時等に求められる技術や知識

いま配備されているIRBを使いたいときに使えるよう 備える

実践から蓄積された技術 ライフセービングの現場ではIRBの導入により、より高度で効率的な救助が各地の海水浴場（18ヶ所）で展開されています。

一方、**近年では、地球規模で自然災害が頻発**しています。災害時には限られた資器材と人員で確実な救助救命が求められ、浮遊物が多い洪水や津波・高潮などの水災害の現場において、**IRBはより多くの要救助者を運搬する器材として優れます。**

しかし、その使用方法を誤れば、**要救助者だけでなく第三者または救助者本人にとって凶器になり得ます。**また、**自然災害時は迅速な対応が求められますが、そのような時に船外機が動かない**ことが無いよう日常の適切な維持管理が大切です。

JLAでは、**自然災害時により多くの人を救助可能**な環境の実現として、**安全・確実・迅速に使用できる資器材であるIRB**に関する知識や技術を**公的救助機関の皆様と共有させていただく事業を進めています。**



公的救助機関の皆様を対象とした IRB講習会

■ 維持管理

- ・ 燃料タンクの保管
- ・ 船外機の毎月点検
- ・ 船外機使用後のメンテナンス
- ・ 船外機が動かない場合の対処
- ・ 船外機が水没したときの対応
- ・ オイル交換の時期と方法
- ・ オイルフィルターやプラグの交換時期と方法 等

■ 組み立て

- ・ 効率の良い船体の組み立て
- ・ 船外機の脱落防止方法 等

■ 操船・救助技術

- ・ 操船者(ドライバー)、乗員(クルー)の乗船ポイント
- ・ 要救助者の効率的な救出方法
- ・ 船首達着(バウタッチ)の陸上隊への引継ぎ方法
- ・ 転覆時の復元方法
- ・ 潜水活動時の警戒
- ・ 夜間運用時の操船
- ・ 災害現場を想定した浅深度や障害物の多い水域での航行
- ・ 洪水災害時の搬送 等

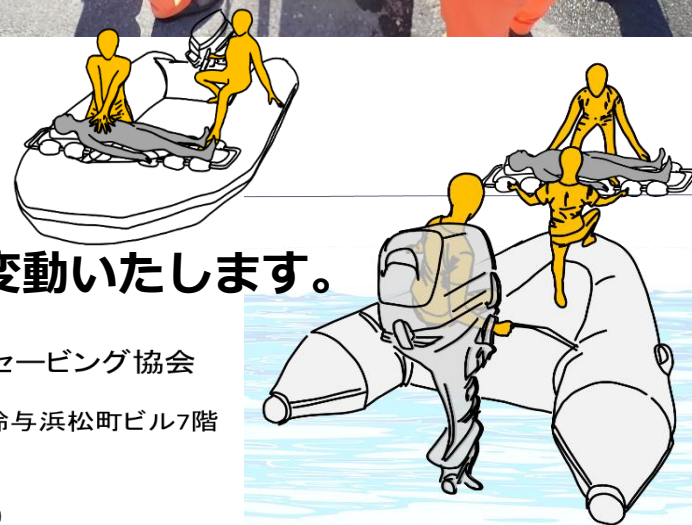


上記は一例です。ニーズに合ったカリキュラムを提供致しますので、随時お問い合わせください。



ニーズに合ったカリキュラムを提供致します

- 講習方法 JLAのIRBインストラクターが講習会場（消防本部など**ご指定頂いた場所**）にお伺いして実施致します。
- IRBや船外機等の主要資器材は、普段の**災害対応時のIRB**をご準備ください。
- 対象公的救助機関に勤務されている方（二級小型船舶操縦士以上の免許所有）
- 講習時間 講義：1時間 実技：2時間(陸上)+2～3時間(水上)
※上記は最低時間です。
- 用意できたIRB実機数と受講者数によって変動いたします。



【問合せ先】

公益財団法人日本ライフセービング協会
〒105-0022
東京都港区海岸2-1-16 鈴与浜松町ビル7階
TEL:03-6381-7597
<https://jla-lifesaving.or.jp/>
問合せ時間 12:00-18:00

